防 衛 省 仕 様 書 改 正 票

ＤＳＰ
Ｌ 4750D(2)

制定 昭和 52. 1. 6
改正 平成 25. 3. 26

衣のう

（BAG, DUFFEL）

この改正票は，ＤＳＰ Ｌ ４７５０Ｄ（衣のう）についてのものであり，ＤＳＰ Ｌ ４７５０Ｄ（１）を含め累積記載されている。この改正票はＤＳＰ Ｌ ４７５０Ｄと併用される。

1.4 a) **規格** 中“ＪＩＳ Ｌ １０９６ 一般織物試験方法”を“ＪＩＳ Ｌ １０９６ 織物及び編物の生地試験方法”に改める。

表４－包装 を次のように改める。

表４－包装

区分	包装材料	包装要領
段ボール箱	ＪＩＳ Ｚ １５０６の複両面段ボール箱3種以上で，箱の形式は，ＪＩＳ Ｚ １５０７の 0201 又は 0204 とし，箱の大きさは，1 形は，570 mm×350 mm×530 mm，2 形は，685 mm×385 mm×530 mm を標準とする。	a)20 個を収納する。 b)箱の接合は，平線又はテープによるものとし，包装用テープで上下面ともH形に封かんし，包装用バンドを二の字に掛け締め付ける。
包装用テープ	幅 50 ㎜以上のもの。	
包装用バンド	幅 15.5 以上のもの。	

付表１－ビニロンテープ 中

“ **付表１－ビニロンテープ** ”

項目		規定					試験方法
密度 本／2．54cm	たて糸	60以上	80以上	95以上	140以上	133以上	ＪＩＳ Ｌ １０９６による。
	からみ糸	—	—	10以上	16以上	10以上	
	しん糸	—	—	22以上	17以上	66以上	
	よこ糸	24以上	24以上	28以上	28以上	28以上	
質量 g／m		7以上	9以上	38以上	55以上	82以上	
引張力 N		980 以上	1079 以上	3432 以上	3923 以上	5884 以上	

を

2.

DSP N 5007F(2)

“ 付表１－ビニロンテープ ”

項目		規定					試験方法
密度 本／2．54 cm	たて糸	60以上	80以上	95以上	140以上	133以上	ＪＩＳ Ｌ １０９６のA法による。
	からみ糸	—	—	10以上	16以上	10以上	
	しん糸	—	—	22以上	17以上	66以上	
	よこ糸	24以上	24以上	28以上	28以上	28以上	
質量　　g／m		7以上	9以上	38以上	55以上	82以上	
引張力　　N		980 以上	1 079 以上	3 432 以上	3 923 以上	5 884 以上	ＪＩＳ Ｌ １０９６のA法(ラベルドストリップ法)による。

に

改める。

防衛省仕様書

D S P
L 4750D

制定 昭和52. 1. 6
改正 平成22. 5.18

衣　の　う

（BAG, DUFFEL）

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は，自衛官が被服などを収納するために用いる衣のうについて規定する。

1.2 種類

種類は，**表 1** による。

表 1 －種類

種類	物品番号
1形	8465－011－8121－5
2形	8465－161－6688－5

1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は，仕様書の名称及び種類による。

例　衣のう，1形

1.4 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) **規格**

ＪＩＳ　Ｇ　４８０１　ばね鋼鋼材
ＪＩＳ　Ｈ　３１００　銅及び銅合金の板並びに条
ＪＩＳ　Ｈ　３２６０　銅及び銅合金の線
ＪＩＳ　Ｌ　０８０４　変退色用グレースケール
ＪＩＳ　Ｌ　０８４２　紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
ＪＩＳ　Ｌ　０８４４　洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
ＪＩＳ　Ｌ　１０９５　一般紡績糸試験方法
ＪＩＳ　Ｌ　１０９６　一般織物試験方法
ＪＩＳ　Ｌ　２５１２　ビニロン縫糸
ＪＩＳ　Ｓ　３０１５　スライドファスナ
ＪＩＳ　Ｚ　１５０６　外装用段ボール箱
ＪＩＳ　Ｚ　１５０７　段ボール箱の形式
ＮＤＳ　Ｚ　０００１　包装の総則
ＮＤＳ　Ｚ　８０１１　角形銘板
ＮＤＳ　Ｚ　８２０１　標準色

2

L 4750D

b) 仕様書

ＤＳＰ　Ｌ　４７６８　帆布

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は，**表 2** による。

表 2 － 材料

区分		規定		用途
		1形	2形	
生地		ＤＳＰ　Ｌ　４７６８のビニロン帆布11B号OD色 a)		a) 1形は，本体布及び中ぶた b) 2形は，本体布，力布，ポケット布及び底布
		ＤＳＰ　Ｌ　４７６８のビニロン帆布10号OD色 a)	ＤＳＰ　Ｌ　４７６８のビニロン帆布20号OD色 a)	a) 1形は，底布及び力布 b) 2形は，玉縁
ビニロンテープ	1×20	—	**付表 1** による。	縁取り
	1×25			引き手
	3×25			D環取付け用
	2×50			手提ひも，力帯
	3×50	**付表 1** による。	—	肩掛バンド，握り及び押さえテープ
スライドファスナ		—	ＪＩＳ　Ｓ　３０１５のH級チェーン幅8.5 mm長さ66 cm丹銅製頭合わせ2個付き自由スライダー(穴径約8 mm)ポリエステルテープ19 mm幅OD色	本体開閉用
			ＪＩＳ　Ｓ　３０１５のM級チェーン幅6.4 mm長さ30 cm丹銅製自由スライダー1個付き，ポリエステルテープ16.5 mm幅OD色	ポケット開閉用

表２－材料（続き）

区分		規定		用途
		1形	2形	
金具	なす環	ＪＩＳ　Ｈ　３２６０及びＪＩＳ　Ｇ　４８０１		a)　1形は，肩掛バンド b)　2形は，手提ひも
	はとめ	ＪＩＳ　Ｈ　３１００	―	袋口
	U環	ＪＩＳ　Ｈ　３２６０		
	角環	―	ＪＩＳ　Ｈ　３２６０	手提ひも
	凸環			
	D環			
	1本コキ尾錠	―	ＪＩＳ　Ｈ　３１００	
ビニロン縫糸 b)	＃5	ＪＩＳ　Ｌ　２５１２	―	袋部，底部及びテープ付け
	＃8	ＪＩＳ　Ｌ　２５１２		本縫い
	＃50	ＪＩＳ　Ｌ　２５１２	―	オーバーロック縫い
銘板		ブロード40番，白色，ほつれ留め樹脂加工		製品の表示

注 a) OD色は，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号2314(OD色7．5Y3／1)を標準とする。
b) ビニロン縫糸の色は，生地と同系のもので堅ろう染とする。

2.2　加工

2.2.1　縫製

縫製は，次による。

a)　一般要領

1)　各部の縫い代は，特に規定のない限り1 cmを標準とする。

2)　針数は，2．5 cm間の表面に現れた縫い目数とし，**表３**による。

表３－針数

区分		針数
ビニロン縫糸	＃5	4～6
	＃8	5～7
	＃50	5～7

3)　縫い飛び及び縫い外れがなく，糸調子は，糸につれ，たるみがなく，縫い目曲がりが目立たないものとする。

4)　縫い始め及び縫い終わりは，完全に返し縫いをするものとする。

b)　細部要領は，**付図１**から**付図４**による。

2.3 構造・形状・寸法

構造・形状及び寸法は，**付図 1** から**付図 4** による。

2.4 外観

外観は，仕上りが優良で，きず，汚れなどの欠点が目立たないものとする。

2.5 製品の表示

製品の表示は，**図 1** に示す様式の銘板を**付図 1** 及び**付図 3** に示す位置に縫い付けるものとする。

単位 cm

注記 1　銘板の枠及び記載事項は，黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて，鮮明に押印又は印刷するものとする。

注記 2　用字及び書体は，ＮＤＳ　Ｚ　８０１１による。

注記 3　寸法は，標準を示す。

注 a)　該当する品名（製品の呼び方）及び物品番号を記入する。

b)　納入年度を記入する。

例　2009年度

c)　契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

図 1 －製品の表示

3 品質保証

検査は，契約担当官等の定める監督・検査実施要領による。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は，**表 4** によるほか商慣習によるものとし，端数のある場合はこれに準じて行う。

表４－包装

区分	包装材料	包装要領
段ボール箱	ＪＩＳ　Ｚ　１５０６の複両面段ボール箱3種以上で，箱の形状は，ＪＩＳ　Ｚ　１５０７の0201とし，箱の大きさは，1形は，585 mm×385 mm×400 mm，2形は，685 mm×385 mm×530 mmを標準とする。	a)　20個を収納する。 b)　箱の接合は，平線又はテープによるものとし，包装用テープで上下面ともH形に封かんし，包装用バンドを二の字に掛け締め付ける。
包装用テープ	幅50 mm以上のものとする。	
包装用バンド	幅15．5以上のものとする。	

4.2　外装の表示

外装の表示は，ＮＤＳ　Ｚ　０００１の表示・標識の一般事項によるほか，次に示す項目を2面及び4面に行うものとする。

a)　防衛省

b)　物品番号

c)　品名（製品の呼び方）

d)　数量

e)　納入年月

例　2010年3月

f)　契約相手方の名称又はその略号

5　その他の指示

5.1　承認用見本

契約の相手方は，製造に先立ち承認用見本として製品1個を契約担当官等に提出し，外観及び色について承認を得なければならない。

5.2　取扱説明書

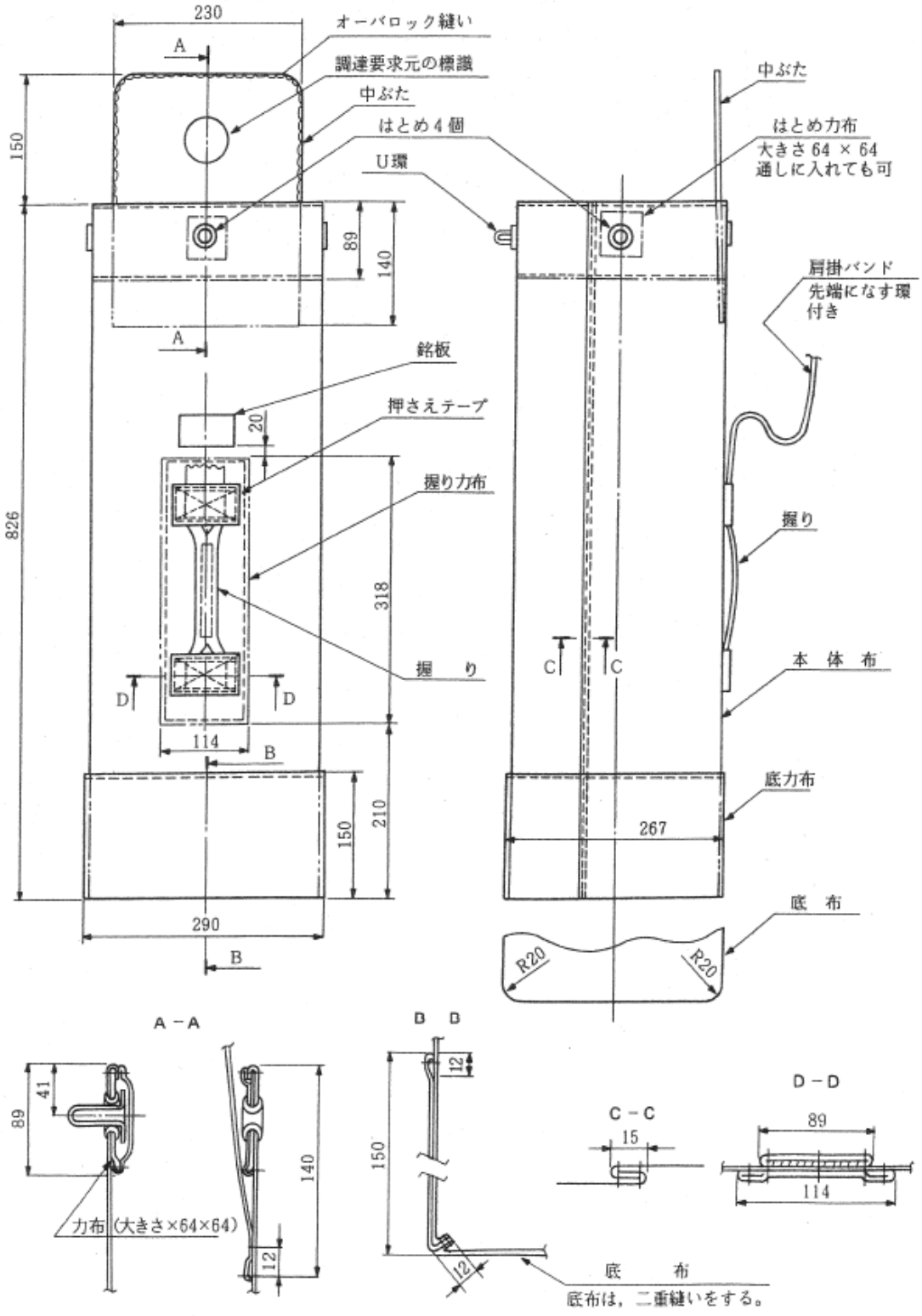
契約の相手方は，衣のう，2形を納入する場合は，製品1個ごとに**付図５**に示す取扱説明書1部を添付するものとする。

付表１－ビニロンテープ

項目		規定					試験方法
材料		ビニロン　100 %					—
組織		すぎ織　一つ山		二重織		二重波織 11山	
厚さ×幅 a) mm		1×20	1×25	3×25	2×50	3×50	ＪＩＳ　Ｌ　１０９６による。
原糸番手より合わせ数	たて糸	20／3S		20／7S		20／9S	ＪＩＳ　Ｌ　１０９５による。
	からみ糸						
	しん糸						
	よこ糸						
密度 本／2.54 cm	たて糸	60以上	80以上	95以上	140以上	133以上	ＪＩＳ　Ｌ　１０９６による。
	からみ糸	—	—	10以上	16以上	10以上	
	しん糸	—	—	22以上	17以上	66以上	
	よこ糸	24以上	24以上	28以上	28以上	28以上	
質量 g／m		7以上	9以上	38以上	55以上	82以上	
引張力 N		980 以上	1 079 以上	3 432 以上	3 923 以上	5 884 以上	
染色堅ろう度	洗濯堅ろう度	4級以上					ＪＩＳ　Ｌ　０８４４のA－2号による。
	耐光堅ろう度	4級以上					ＪＩＳ　Ｌ　０８４２による。ただし，紫外線カーボンアーク灯光の照射時間は，20時間とし判定は，ＪＩＳ　Ｌ　０８０４による。
色		ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号2314(OD色7.5Y 3／1)を標準とする。					—

注 a) 厚さ×幅の寸法は,標準を示す。

単位 mm

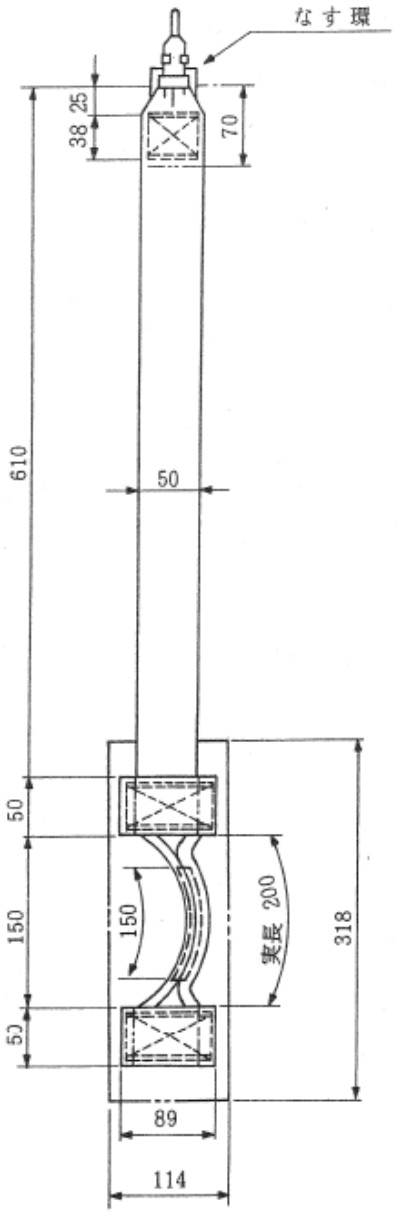


注記　寸法は，標準を示す。

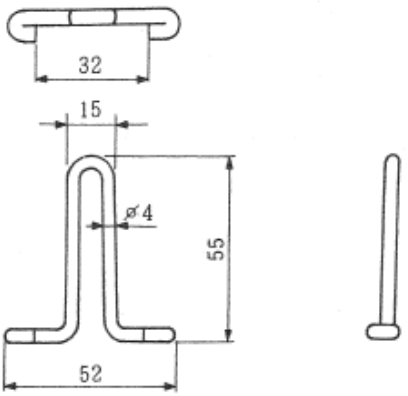
図番	付図1	名称	衣のう，1形	尺度	—
防　　衛　　省					

単位 mm

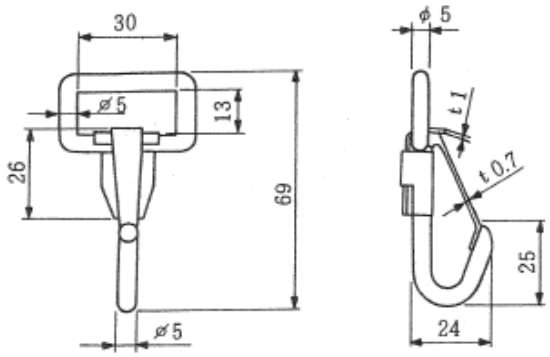
肩掛バンド及び握り



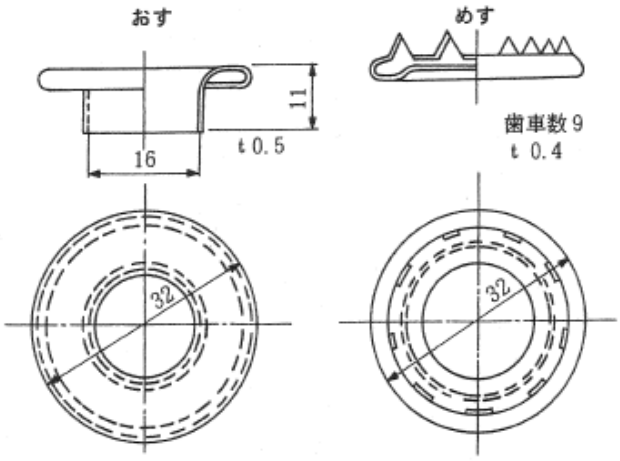
U 環 [ニッケル(黒)めっき仕上げ]



な す 環 [ニッケル(黒)めっき仕上げ]



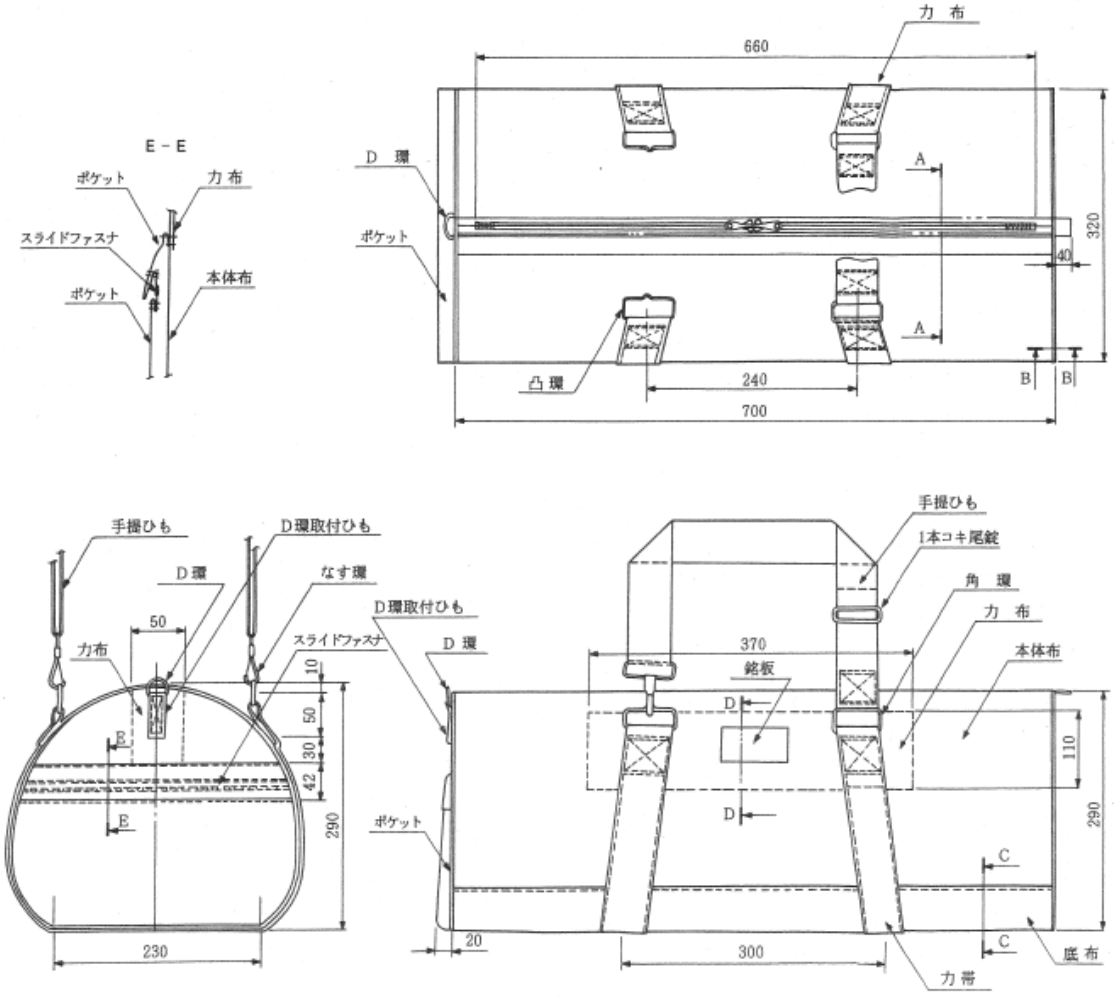
は と め [ニッケル(黒)めっき仕上げ]

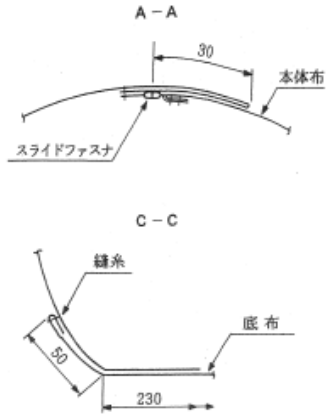


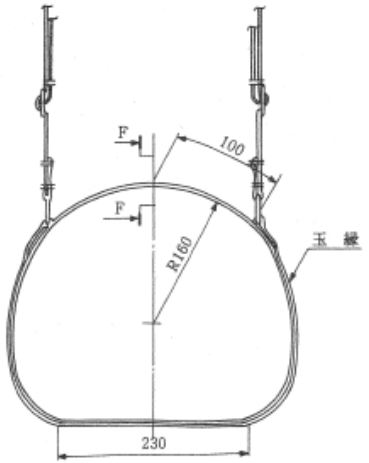
注記　寸法は，標準を示す。

図番	付図2	名称	衣のう，1形(続き)	尺度	—
防		衛	省		

単位　mm







注記　寸法は，標準を示す。

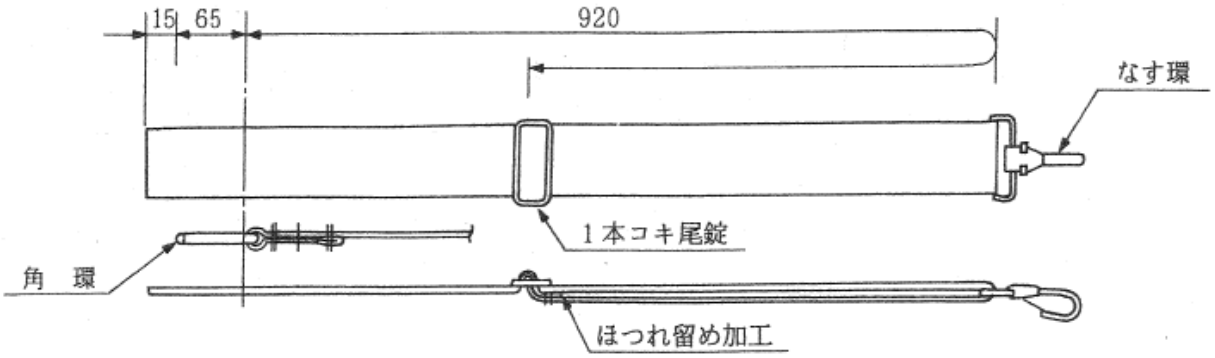
図 番	付図3	名称	衣のう，2形	尺度	—
防		衛		省	

10

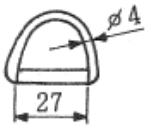
L 4750D

単位 mm

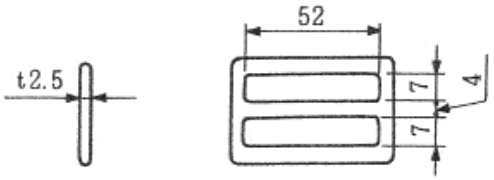
手提ひも



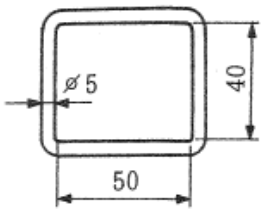
D 環



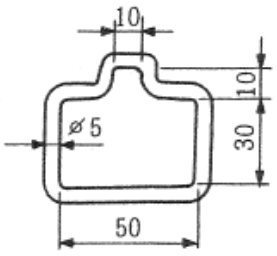
1本コキ尾錠



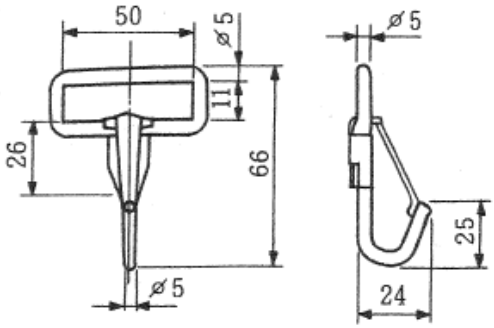
角 環



凸 環



な す 環

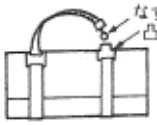
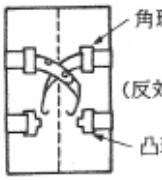
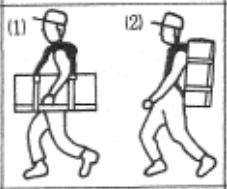
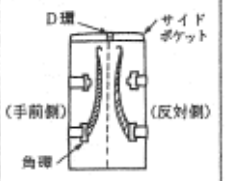
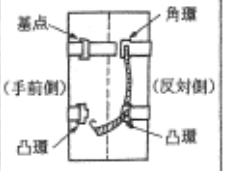


注記　寸法は標準を示す。

図番	付図4	名称	衣のう，2形(続き)	尺度	—
防　　衛　　省					

衣のう，２形 取扱説明書

1. **使用方法**：中央部ファスナを開いて，収納品を入れファスナを閉じ，ファスナのスライダーを２個合わせて，スライダーの孔に錠前を掛ける。サイドポケットは，小物入れとして使用する。
2. 各種携行法及び操作については，表のとおり。

NO	区　分	取扱要領	手さげひもの掛け方	略　図	適用例
1	手さげ携行	手さげひも左右（各１本）を手でまとめて持つ。	なす環＋凸環		通常使用 執銃，背のう装着時は，左手で持つ （開閉が容易）
2	手さげ携行	なす環を外して，反対側の凸環に，それぞれ掛けて，手さげひもの交差した中央を手で持つ。	なす環＋反対側の凸環 （手さげひもが交差する）		速やかに携行できる
3	肩掛け携行	(1)　手さげひも左及び右の輪に手を通して肩に掛ける。 (2)　D環に手さげひものなす環を掛け，手を通して肩に掛ける。	(1)　１と同じ (2)　なす環＋D環		小移動に適 （安定感がある）
4	背負携行	手さげひものなす環をD環に掛ける。それぞれ手を通して背部に背負う。(サイドポケットを上にして背負う)	なす環＋D環		中移動に適 （両手が自由に使える）
5	応　用	なす環を外して，D環にそれぞれ掛ける。サイドポケットを上にする。 （手さげひも左右対称）	なす環＋D環		縦形につるす場合に適
6		なす環を外して，反対側の角環及び凸環を通し，手前側の凸環に掛ける。 （手さげひも左右対称） 収納品が少ない場合は更に基点の角環に掛ける。 （手さげひもが各環を通して１回りした形状）			輸送時に適 （収納品の緊定）

注記　取扱説明書は，再生上質紙B5に印刷するものとする。

図番	付図５	名称	衣のう，２形取扱説明書	尺度	—
防　衛　省					